

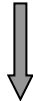
ペムブロリズマブ+レンバチニブメシル酸塩

【適応】

がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の子宮体がん

※承認された体外診断薬を用いて、MSI 検査を実施してください。

【投与スケジュール】

	Day1	Day21
ペムブロリズマブ 200 mg/Body 30分以上かけて		

3週間間隔で点滴静注する。

レンバチニブメシル酸塩は成人にはレンバチニブとして1日1回20mgを経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。

※ペムブロリズマブ投与時、インラインフィルター(0.2~0.5 μ m)のある点滴ルートを用いて投与すること。

※本剤の作用機序に基づき、過度の免疫反応による副作用があらわれることがある。これらの副作用は、対応によっては重篤または死亡に至る可能性がある。観察を十分に行い、異常が認められた場合には、発現した事象に応じた専門医と連携して適切な鑑別診断を行い、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うことが必要。

【レンバチニブ減量段階基準】

副作用が生じた場合は、減量、休薬または中止すること。

減量し、投与継続する場合には下記を参考に減量すること。

	投与量
開始用量	1日1回20mg
1段階減量	1日1回14mg
2段階減量	1日1回10mg
3段階減量	1日1回8mg
4段階減量	1日1回4mg